

臨地実習を行い、看護を実践的に学ぶ

看護を基礎から学び、1年次から東京大学医学部附属病院などで実習を行います。高度な医療技術が提供される環境で実践的に学ぶことによって、看護の専門知識について理解を深めます。実践経験を重ねることで、よりよい看護を提供する力を身につけます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	看護の基礎を学びながら人間性を磨く	専門科目の基礎を学び実習を体験する	専門科目を修得し病院実習へ	これまでの学びを統合し自ら実習をプログラム
基礎教養科目	入門ゼミナール 生き物の科学／物質の反応／物質の科学 法学／哲学／社会学／心理学概論 発達心理学／コミュニケーション論 健康の創造／健康スポーツ 英語Ⅰ・Ⅱ／英語コミュニケーション 中国語／情報リテラシー入門 情報リテラシー実践／生化学／栄養学と食育	英語Ⅲ・Ⅳ 基礎ゼミナール 東洋医学特講 集中英語演習		英語Ⅴ・Ⅵ
専門基礎科目	● 人体の構造と機能 人体の構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 人体の機能Ⅰ・Ⅱ ● 疾病の成り立ちと回復の促進 病理学概論 病態生理学 ● 健康支援と社会保障制度 社会保障・社会福祉の基礎	● 疾病の成り立ちと回復の促進 臨床薬理学概論 臨床疾患学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 生体防御学 ● 健康支援と社会保障制度 公衆衛生学 保健医療福祉行政論 医療関連法規	● 健康支援と社会保障制度 疫学・保健統計学	
専門科目	● 看護学の基盤 看護学概論 看護理論の基礎 基礎看護方法論Ⅰ PICK UP フィジカルアセスメント 導入基礎実習…① ● 領域別看護実践 コミュニケーション実習	● 看護学の基盤 基礎看護方法論Ⅱ・Ⅲ 看護過程論 看護倫理学 基礎看護学実習…② ● 領域別看護実践 成人看護学概論 老年看護学概論 ウィメンズヘルス看護学概論 小児看護学概論 精神看護学概論 ● 地域看護学 在宅看護学概論 在宅看護援助論Ⅰ 公衆衛生看護学概論 ● 看護の統合と実践 看護情報学 看護研究の基礎 国際看護論	● 領域別看護実践 急性期看護論／周術期看護演習 慢性期・終末期看護論Ⅰ・Ⅱ PICK UP 老年看護援助論 母性看護援助論 PICK UP 小児看護援助論／精神看護援助論 周術期看護実習 慢性期・終末期看護実習 母性看護学実習 小児看護学実習／小児療育実習 精神看護学実習 老年看護学実習 ● 地域看護学 公衆衛生看護学各論 産業保健看護学・学校保健活動論 健康教育・保健指導の理論と実際 コミュニティヘルスアセスメント ● 看護の統合と実践 国際看護研修Ⅰ・Ⅱ 研究ゼミナールⅠ	● 領域別看護実践 地域精神保健実習 ● 地域看護学 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護学実習 公衆衛生看護学管理論 公衆衛生看護学実習 ● 看護の統合と実践 看護管理学 統合実習…⑤ 研究ゼミナールⅡ 総合演習Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生看護学研究 シミュレーション演習

① 1年次：前期

看護師が実際に活動している場所を探索

東京大学医学部附属病院などで実習を行います。また、夏には地域で暮らす高齢者の方々とふれあいます。

② 2年次：9月上旬

初めて患者さんを受け持ちます

東京大学医学部附属病院を中心に実習を行います。

③ 3年次：後期

各看護学の専門領域での実習です

東京大学医学部附属病院を中心に実習を行います。

④ 4年次：前期

地域での看護活動に注目

訪問看護ステーションで実習を行います。また、保健師コース選択者は、保健所・保健センター・企業の健康管理部門などでも実習を行います。

⑤ 4年次：前期

4年間の総まとめ

卒業後、看護師として自律して活動できるよう、4年間に学んだことのまとめの実習を行います。

※カリキュラムは変更になる場合があります。

Look! 1年生 前学期の時間割 (太字…必修科目)

	時間	MON	TUE	WED	THU	FRI
1時限	9:00～10:30	人体の機能Ⅰ			中国語	心理学概論
2時限	10:40～12:10	人体の機能Ⅱ	人体の構造Ⅰ	健康スポーツ(体育実技)	人体の構造Ⅱ	入門ゼミナール
3時限	13:00～14:30	法学(日本国憲法)	哲学	英語Ⅰ		看護学概論
4時限	14:40～16:10	生き物の科学(生物学)		情報リテラシー入門	健康の創造(体育理論)	
5時限	16:20～17:50				物質の反応(化学)	

※2023年度入学生のカリキュラム

PICK UP CURRICULUM



基礎看護方法論Ⅰ
(日常生活の援助技術)

看護学で重要なことは、その対象である「人」がどのような暮らしを送っているかを知ることです。この授業では、人の生活を様々な角度から見ることで理解を深め、その暮らしを支えるための看護技術を身につけます。また、看護の提供者としての態度やコミュニケーションについても学びます。



慢性期・終末期看護論Ⅰ(支援の実際)

成人期に多く見られる代表的な疾患を取り上げ、病気の経過に応じて、慢性期や終末期のケアに必要な専門的知識・技術を学びます。慢性期では、慢性的な病を抱えながら、より良い状態を維持するための症状管理や生活調整について学びます。終末期では、対象者と家族の苦痛の緩和と、より良い状態で生きるためのケア方法を中心に学びます。



学生同士でそれぞれ患者・看護師となって、ロールプレイを行い、実際の患者さんの状況を体験しながら学修します。



食欲を増す援助としても重要な口腔ケアは患者さんへの細やかな配慮について考える機会になります。



手浴・足浴をはじめ、患者さんの日常生活を援助するための看護技術を学びます。



母性看護援助論

周産期(妊娠、分娩、産褥期)にある女性や胎児、新生児、家族における身体的・心理的・社会的変化や適応過程を学びます。各時期に必要なとされる看護技術や、必要な看護を提供するための看護過程を学び、充実した演習環境のなかで実践力を高めます。「女性を中心とした看護ケア」を大切に、命の誕生や育児を中心に母性看護への学びを深めています。